



Microsoft Windows Hello が FIDO2 認定を取得 (国際版の日本語訳)

グローバルで 8 億台を超えるアクティブな Windows 10 デバイスに安全なパスワードレス認証をもたらします

2019 年 5 月 6 日、カリフォルニア州マウントビュー - [FIDO アライアンス](#)は本日、Microsoft Windows Hello が FIDO2 認定を取得したことを発表しました。このニュースにより、Windows 10 を実行している互換性のあるすべてのデバイスは、2019 年 5 月 10 日の Windows 10 更新の後、直ちに FIDO2 認定を取得している状態となります。Windows 10 ユーザーは、集中管理されているパスワードの代わりに、Windows Hello 生体認証または PIN を利用することにより、デバイス、アプリ、オンラインサービス、およびネットワークに FIDO 認定を受けたセキュリティでアクセスできます。

FIDO2¹ は、モバイル機器のバイオメトリクスや FIDO セキュリティキーなどを使って Web サイトおよびアプリケーションへの簡単で安全なログインを可能にする標準規格です。FIDO2 のシンプルなログイン体験は、パスワードよりはるかに優れた堅牢な暗号学的セキュリティによって担保されており、ユーザーをフィッシング、あらゆる形式のパスワード盗難、およびリプレイ攻撃から保護しています。FIDO2 の詳細については、次の URL を参照してください。 <https://fidoalliance.org/fido2/>

Microsoft のプリンシパル・グループマネージャーであるヨゲッシュ・メヘターは、「FIDO アライアンス、W3C との共同作業、および FIDO2 標準への貢献は、パスワードのない世界への Microsoft の取り組みの重要な部分です。Windows Hello は FIDO2 標準に準拠するように構築されているため、Microsoft クラウドサービスおよび異種混在環境内で動作します。本日の FIDO2 認定に関する発表で、組織や Web サイトは 8 億台を超えるアクティブな Windows 10 デバイスを正式に認定された FIDO 認証のためのデバイスとして使うことができるようになりました」と述べています。

パスワードのない未来への責任を率いる Microsoft は、ユーザーにシームレスでパスワードなしのログイン体験を提供するための取り組みにおいて、FIDO 認証を基本的な構成要素にしました。FIDO アライアンスのメンバーであり、FIDO2 仕様の開発に貢献している Microsoft は、Windows Hello で市場初となる FIDO2 のロー

ルアウトの1つを成し遂げ、[Microsoft Edge ブラウザ](#)で FIDO2 をサポートし、[FIDO セキュリティキー](#)で Windows アカウントへのログインもサポートします。

2019 年 5 月 10 日の Windows アップデートには、Microsoft Edge または最新バージョンの Mozilla Firefox で動作する Windows Hello または FIDO セキュリティキーによるパスワードなしの FIDO 認証のサポートが含まれています。詳細については、[Microsoft のブログ投稿](#)をご覧ください。

FIDO アライアンスの最高マーケティング責任者であるアンドリュー・シキアーは、「Microsoft は、FIDO アライアンスのボードメンバーの1社であり、パスワードを超えて世界を動かすという我々の使命の屈指の支持者として、FIDO2 開発へ重要な貢献を果たしてきました。このたびの認定は、Windows 10 での FIDO2 テクノロジーに対する Microsoft の長年のサポートが基盤となっており、Windows エコシステム全体にわたって、ユーザー認証に対する FIDO のアプローチから顧客とパートナーが恩恵を受けるための扉を開きます。FIDO2 は現在、世界で最も使用されているオペレーティングシステムと Web ブラウザでサポートされており、企業、サービス提供者、およびアプリケーション開発者が、世界中の何十億というユーザーに対してシンプルで堅牢な認証体験を迅速に提供するステージを築きます」と述べています。

[Microsoft Edge](#)に加えて、FIDO2 は、[Google Chrome](#) および [Mozilla Firefox](#) の大手 Web ブラウザ ([Apple Safari](#) ではプレビュー版でサポート) によってもサポートされています。[Android も FIDO2 認定を受けており](#)、モバイルアプリや Web サイトは Android 7.0 以降をサポートする 10 億台以上のデバイスで FIDO 標準を利用できます。さらに、実装をサポートするために、いくつかの [FIDO2 認定製品](#)が発表されました。

すぐに使用可能な認証を利用し、Windows 10 デバイスに FIDO 認定ロゴを表示することに関心のある製造元は、FIDO アライアンスの新しい商標およびサービスマークの使用許諾[契約書](#)を参照する必要があります。

FIDO 認定について

FIDO アライアンスは、生体認証やセキュリティキー、クライアント、サーバーなどの認証デバイスが、FIDO2 を含む FIDO 仕様に準拠していること、および特定のセキュリティプロファイルを満たしていることを検証し、その認定を行います。これにより、Web ユーザーは、FIDO 対応のすべての Web サービスにわたり、自身の FIDO 認定デバイスをシームレスに利用できるようになります。Web サイトや組織の場合は、一度だけ FIDO を有効にして、市販されているあらゆる FIDO 認定デバイスにアクセスするだけで済みます。

端末メーカーはセキュリティレベルの試験に参加することで、デバイスをさらに差別化して追加の要求仕様を満た

することができます。この試験では、ユーザーの認証資格情報がどの程度堅牢に保護されているかが検証されます。

[FIDO2](#) に関するより多くの情報や [FIDO 認定](#)プログラムへの参加に関心のある[開発者](#)および製品ベンダーに向けた資料は、FIDO アライアンス Web サイトでご覧いただけます。

FIDO アライアンスについて

「高速なオンライン ID 認証」を意味する FIDO（Fast IDentity Online）アライアンス www.fidoalliance.org は、セキュリティと利便性の両立をめざすため、2012 年 7 月に設立されたグローバルな非営利団体です。堅牢な認証技術に相互運用性が確保されていない状況を改善し、ユーザーが多くの ID とパスワードを覚えなければならないという煩わしさを解消することを目的としています。FIDO アライアンスは、認証におけるパスワード依存を軽減するために、オープンで拡張性と相互運用性のあるシンプルで堅牢な「FIDO 認証」を[標準化](#)することで、オンラインサービスの本質に変革をもたらします。FIDO 認証はオンラインサービスの利用時に、堅牢でプライバシーが確保された便利な認証を提供します。

FIDO アライアンス PR 担当者

アジア・パシフィック マーケット開発マネジャー

土屋 敦裕

press@fidoalliance.org

¹ FIDO2 は、World Wide Web Consortium（以下、W3C）の [Web 認証仕様](#)とそれに対応する FIDO アライアンスの [Client to Authenticator Protocol（デバイス間連携仕様。以下、CTAP）](#) で構成されています。